

2010 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 第 一 三 共 株 式 会 社
代 表 者 代表取締役社長 中山 譲治
(コード番号 4568 東証・大証・名証各第 1 部)
問合せ先 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 斎 寿明
TEL 報道関係者の皆様 03-6225-1126
株式市場関係者の皆様 03-6225-1125

関連会社の株主間契約終結について

第一三共株式会社（本社：東京都中央区、以下「第一三共」）は、本日の取締役会において、仏サノフィ・アベンティスグループ（以下「SA グループ」）の Sanofi Pasteur S.A.（本社：フランス・リヨン、以下「SP 社」）との合弁会社で、関連会社のサノフィパスツール第一三共ワクチン株式会社（本社：東京都江戸川区、以下「SPDS ワクチン社」）について、株主間契約を終結する基本合意を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株主間契約終結の理由

第一三共と SP 社は、海外で流通する優れたワクチンの日本での開発・販売を目的として、1987 年 4 月、合弁会社株式会社シーディーバック（現・SPDS ワクチン社）を設立しました。SPDS ワクチン社は、現在、インフルエンザ菌 b 型（ヒブ）結合体ワクチン「アクトヒブ®」の輸入・販売や不活化ポリオワクチン（IPV）とジフテリア・破傷風・百日せきワクチンとの 4 種混合ワクチン（IPV-DTP）の開発などを行っています。

第一三共と SP 社は、SPDS ワクチン社に関する株主間契約が 2010 年 12 月末に期限を迎えることを受けて協議した結果、当初の目的が達せられたことを理由に、既存事業の継続を前提とした上で、2010 年 10 月末に契約を終結することになりました。

第一三共は、今後も引き続き、SA グループと協力して、ワクチンの開発・事業化を進めてまいります。

2. 株主間契約終結の内容等

(1) 内容

SPDS ワクチン社株式のうち、第一三共保有分が SA グループに譲渡されます。これにより SPDS ワクチン社は SA グループの 100%子会社（以下「新会社」）になります。

(2) 株主間契約終結に伴う主な事業の取扱い

- ・現在販売中のアクトヒブ[®]につきましては、新会社が製造販売承認を保有し、販売は引き続き第一三共が行います。
- ・現在開発中の 4 種混合ワクチン IPV-DTP につきましては、第一三共、SA グループ（含む新会社）、北里研究所が共同開発を継続します。

(3) 合併会社（SPDS ワクチン社）の概要

①名称	サノフィパスツール第一三共ワクチン株式会社
②所在地	東京都江戸川区北葛西 1-16-13
③代表者	代表取締役会長 パトリック ショカ 代表取締役社長 采 孟
④事業内容	医療用ワクチン等の臨床開発・製造・輸入・販売等
⑤資本金	3 億 1000 万円
⑥設立	1987 年 4 月 30 日
⑦出資比率	第一三共 50%、SP 社 50%

3. 株主間契約終結の期日

2010 年 10 月末（予定）

以 上